

様式第 1 4 号（第 5 条関係）

令和 7 年 4 月 1 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市真鍋島 4 0 9 3		
協 議 会 名	真鍋島まちづくり連絡協議会		
協 議 会 長 名	会長	川辺 昭政	
まちづくり計画策定状況： ☐ 策定済み ☒ 未策定			

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第 5 条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 536,000 円

〔内訳〕

(単位：円)

活動 N o (優先順位)	活動名	インフラ上 限加算対象	申請額
1	山道整備・保全事業		454,000
2	真鍋島定住促進プロジェクト		82,000
			0
			0
			0
			0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書（様式第 1 5 号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書（様式第 1 6 号）
- (3) まちづくり計画（地域計画）などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道整備・保全事業

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	山道の散策と観光地を推進。
【効果】	瀬戸内の景観が楽しめる。来島者との交流、コミュニケーション作りができる。

2 実施期間

令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

島内全域

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 7 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わる人数： 2 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）
○団体： （団体名） , （団体名）
（団体名） , （団体名）

5 実施内容

島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であり清掃も実施する。活動成果の島内外への周知を強化する。（掲示板、マップ作り、インターネット等により）

6 予算額

454,000 円（うち交付金分 454,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第 16 号（第 5 条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道整備・保全事業

【収入の部】 (単位：円)

費 目	金 額	摘 要
市交付金	454,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	454,000	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	金 額	摘 要
報償費	330,000	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	121,000	〃
役務費	3,000	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	454,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書 1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
草刈り報償費	330,000	草刈り等5人×@1,000×7回×4時間=140,000
		草刈り等2人×@1,000×10回×4時間=80,000
		草刈り等1人×@1,000×20回×4時間=80,000
		草枯らし散布2人×@1,000×5回×3時間=30,000
計	330,000	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
消耗品費	90,950	乗用草刈機替刃@22,000×2セット=44,000
		替刃@1,848×2=3,696
		ラウンドアップ@15,180×2=30,360
		竹箒@1,298×3=3,894
		蜂駆除殺虫剤@1,500×6=9,000
燃料費	20,680	混合油40缶@2,068×10=20,680
飲料費	8,640	飲料@180×48=8,640

《収支予算内訳書 2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	121,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5, 040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5, 040円
物品運搬手数料	2, 800	船賃@700×4=2, 800
計	3, 000	

《収支予算内訳書 3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第 1 5 号（第 5 条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	担い手の確保は依然として地域維持にあたっての重要課題であるが、中学校休校の流れにおいては今後子育て世帯のみならずターゲット層を広げてPRしていく転機にある。移住者獲得を最終目標としなが
【効果】	移住を促進することによって地域課題の解決につなげるとともに、関係人口の増加によってSNS等を活用した情報の発信源を広く確保できる。

2 実施期間

令和 7 年 6 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

真鍋島 笠岡諸島

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 15 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わる人数： 10 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）
○団 体： （団体名） , （団体名）
（団体名） , （団体名）

5 実施内容

真鍋島の知名度を高めるためSNS等で有力な発信源となり得る人材と交流し、広域への情報発信を促しながら定住促進プロジェクトや真鍋島そのものの知名度アップを図る。

6 予算額

82,000 円（うち交付金分 82,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第 1 6 号（第 5 条関係）

令和 7 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

【収入の部】 (単位：円)

費 目	金 額	摘 要
市交付金	82,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	82,000	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	金 額	摘 要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	30,000	〃
需用費	8,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	11,000	〃
備品購入費	0	〃
宿泊費	33,000	〃
	0	〃
計	82,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書 1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
移住相談、交流船賃	29,160	チャーター船11,000円×2回=22,000円 船賃1,790円×4回=7,160円
計	30,000	

需用費

[illegible]

《収支予算内訳書 2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	8,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書 3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
H P 運営料	11,000	ドメイン料 6,000円 サーバーレンタル料 5,000円
計	11,000	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

宿泊費

内 容	金 額	積 算
相談会、交流会	33,000	5,500円×6人
計	33,000	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。